少年時代の故郷

桐生隆文

羽越線中条駅から福島県境にある飯豊山に向かって約十キロ、そこに私の郷里がある。そこは山に囲まれた台地で中央にはきれいな川が流れている。私は十二才のときまでその山村に過ごした。

春・越後の春は雪が多いのでその訪れも遅いが、それだけに春を迎える喜びはまたひとしおである。わけても山村の春は平地ではとても味わえぬ趣がある。見渡す限り白一色であったのが四月に入ると日あたりの良いところから黒い土が顔を見せる。土のかおり懐かしさ、ありがたさ、それはそれは何にもたとえようがないものである。およそ都会人には想像もつかないであろう。子供達はわずかな土の上にはしゃぎまわるといい、私の家からは歩いて七、八分。床が石のためか水はいつも澄みきっている。川幅二、三十メートルを泳げるのだ。いいかげん泳いで、口びるの色が変わるころになると、砂州にはい上がり、たき火を囲みながられいの馬鈴薯を食べる。石をおこすと、かいかやはやもとれるからたまには焼ざかなもいただける。こんなことを繰返していると時間の観念などは全くない。朝から晩まで昼ぬきにといっても過言ではないのである。

(未完)

楽しかった潮干狩り

一年　渡辺裕子

私達、高中の一年生が緊張して到着したのは、十時半ころだった。きょうは遠足、ねむい思いをしてじっと椅子に腰掛けてなくてもいいんだと思ったら、思わずニッコリとしてしまった。

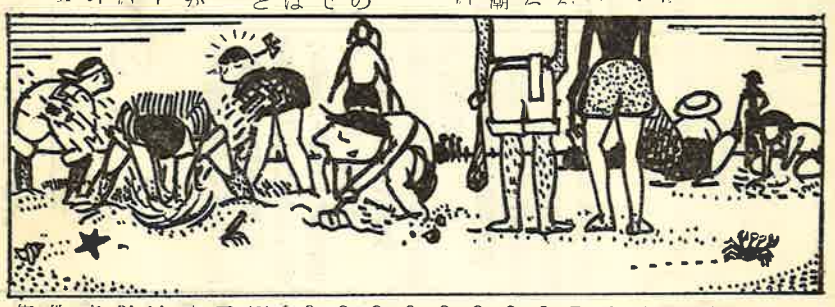
昼食後、すぐ貝取りが始まった。私は、坂内さん、安富さんと浜へ降りた。体操着にブルマ。三人ともまったく恥しいいでたちである。まさに、晩のおかずに向かい突進という感じなのだが、心の中では、シオフキばかりだったら…とちょっぴり心配だった。

私達は、あっちも、こっちもと手当たりしだいに砂を掘り返してはシオフキをもいでそれぞれ手分けして運ぶ。川に着くと、石と泥で造ったかまどにこわれた鍋をかけ馬鈴薯を煮る。トマト、すいかは川に。こうして準備が終わると安心して

「あっ！みつけたっ。」と最初に大声を上げたのは、坂内さんだ「わあっ」とそばに、駆け寄るとなんともお粗末な貝だったが、確かに、シオフキではなかった。反対に私は、なかなか取れなかった。だから、やっとちっちゃなアサリを見つけた時は、百円玉を拾ったようれしかった。そのアサリに、元気付けられた私は、夢中になって拾い、やっとこぶしのちょっと大きい位に網がふくらんだ時は、もう満足感でいっぱいだった。腰をのばすと、見渡す限りはてなく長々と続く人の群。たぶんその人達の網は、私の何倍も大きいだろう。でもそんなことはどうでもいい。私は安富さんと、話しながら、涼しい風に包まて歩いた。そのうちに坂内さんも加わってカニを採したり、たっちゃな魚を追っかけたり、潮干狩りという目的も、忘れてはねまわった。

また、ちょっと目を移すと、人、空、海岸が、一枚の油絵のようだ。のびのびとした自由で広々な景色が続いている。私はそれを見ているうちに、なんとな、安心感を覚えた。

考えてみれば、入学式以来かっての違う毎日で、少し疲れていたのかもしれない。きょうは学校という場を離れ、ほんとにのびのびと遊んだ。実に愉快な日であったと思う。



古都に学ぶ

三年　田中隆治

薬師寺の東塔わきで説明を聞く

京の鎖道は東京ではみることのできないこう造りで何となく奥行きが深い。そしてその家並を左右にみながら奈良に向かった。

春風に淋しき古都の時雨かな

薬師寺に着いた時はもう雨はあがって快晴だった。雨あがりのせいか遠くの山々が煙った様に見え野は一面の鮮烈な緑におおわれて何とも言えない美しさを感じた。

春の春や花々若葉満ちる野辺

柔かい感じの三重の塔がくっきりと浮び上っている美しい風景。ほんとうにすばらしい絵をみているような感じをうけた。

山門を咲きぬく春や桜草

せまい入口から広々とした感じの本堂に入った。薬師如来が、堂々と立わっていた。みんなが信仰するというのは、慈悲愛情の象徴、万人の母を感じさせる表情であるからだろう。

芝生の中に行楽客がおとし一つのおにぎりの様な感じの若草山。高くなく低くなく、青々とした山に太陽がさんさんとふり注ぎ、草も花もそれに合わせて踊り歌っているようだった。

風そよぎ若葉の奈良は今盛り

次は春日大社の鹿に対面する。

鹿も僕達と同じように常識を持っているのだなと思った。

法隆寺。国宝がたくさんあった。中には壁画もあった。全体としてすごく重々しい感じだった。僕には国宝の美しさも建築物の美しさもよくわからない。だから印象に残っているのは何となく重々しいということだけ……。

何もかも良くわからねど重々し

門を出る時、なるほど酒飲み入るべからずだけのことはあるなと思った。法隆寺には詩情がある。子規が歌った時の情景が手にとるようにわかった。

古き世の往来恋ふ法隆寺

このような風景は奈良でなくてはみられない風景だ。

春風に淋しき古都のたたずまい

うす暗くなってきた頃、バスは帰途に着く。奈良の山々。古き時代の面影深い奈良という古都。そしていつしか消えてゆく奈良の山々を見ていると、古き時代へ僕を引っぱり込んでいくようだった。

クラブ一覧

クラブ名	予算	部長	副部長	部員数	顧問の先生	備考
英語	4,700	3B 白滝	2A 山本	28	久保博、大日方	
化学	10,700	3E 江尻	2G 花輪	27	石原、柴田	
物理	10,000	3C 佐々木	3I 鈴木	9	服部、前原	
生物	12,500	3G 千葉	3I 宮本	33	鈴木ヨ	
文芸	0	——	——	1	柏崎、鈴木シ、竹下	休部
美術	19,000	3B 島田	3B 竹山	42	小山、向坂、小林	
写真	11,400	3I 上原	3A 岡田 2E 吉川	83	久保弘、彦根、土田	
家庭	12,500	3A 大野木	2C 黒河	59	吉永	
演劇	13,400	3F 加藤	2H 飛山	28	五所	
ブラスバンド	17,000	3H 成田	3H 竹中	46	田香	
コーラス	3,800	3G 小川	2H 斉藤	51	中村	
社会	3,900	3B 小笠原	3B 大野	24	桑原、塙、佐久間	
数学	2,100	3B 金井	2B 宍戸	24	田中、内田、東野	
珠算	3,000	3F 五十嵐	3I 岩沢	22	西沢、林	
工作	13,500	3A 西村	3B 斉藤	79	森谷、林、武田	
書道	3,900	3C 染谷	3B 葛城	47	佐藤、桐生	
野球	42,000	3B 綿田	3I 宮川	53	高井、三沢	
卓球	27,000	3I 高根沢	3H 菅井	101	根本	
陸上	15,000	3G 古山	2E 野口	14	三浦、古沢	
男子バスケット	30,000	3G 村田	3A 半田	85	月岡	
女子バスケット		3D 杉山	3H 水上	24	池上	
男子バレーボール	27,000	3D 月田	3G 古川	65	阿出川	
女子バレーボール	20,000	3H 渋谷	3C 山沢	61	阿出川	
体操	10,000	3H 秋葉	3H 内田	24	池上	
山岳	22,000	3C 野中	2G 青木 3G 宮宇都北	53	森谷、久保博、吉良 鈴木ヨ	
剣道	2,000	3G 名倉	2F ——	65	古沢	
無所属	——	——	——	約100	——	同好会

夏休みの行事予定

7/23～7/25・八ガ岳林間学校
7/21～7/27（除24）・図書館
7/22・高田南町一班バレーボール
7/27・南長崎班バレーボール
7/27・池袋東班バレーボール
7/27～7/29・三年召集日
8/8～8/11・富浦臨海学校
8/15（八・三〇）・全校召集日
8/15・長崎班地区活動予定
8/15～8/24（除21）・プール
8/24～8/30（除28・図書館
8/29～8/31・三年召集日
8/31・教職員全日出勤
9/1（八・二五）・始業式

※このほかに、クラス会などが多数行なわれる予定です。それらの行事に参加する人達は、それぞれ指導の先生の指示に従い、意義ある行動をとってください。※旅行の学割やその他の用件で登校した場合は、必ず日直の先生に用件を述べ、その指示に従ってください。※目的もなく登校したり、無断で教室や校庭を使用しないようにとのことです。※夏休みの個人の行動は家庭連絡をしっかりしておきましょう。

編集室より

●今回の「いなほ」は学期途中に発行する予定でしたが、例年のように学期末になってしまいました。しかし広報部員の協力によって、短期間でも割合いにうまくまとまったと思います。

●予算の都合で二面にしましたしまたあまり新企画はありません。二、三学期の新聞は四面を計画していますし、ぐっと内容の充実をはかろうと考えています。

●今回の新聞の内容についての感想、ならびに次回にとりあげてもらいたい企画、記事などがありましたら、各クラスの広報部員、または五所先生か三Dの大岡清孝までご連絡ください。